

かわさきの幸せを川柳で読む 【メルマガ10月号】

川崎市が、150万人を超える都市になったことを記念して「**かわさき川柳**」を大募集しています。

川柳は、江戸時代に「前句附（まえくづけ）」の娯楽的な文芸を母体として生まれました。

「切りたくもあり 切りたくもなし」

という七・七の短句（前句：お題）が提示され、

「泥棒を 捕えてみれば わが子なり」

という五・七・五の長句（附句：答え）をそれぞれが作り、

その「附句」のユーモアを競うという文芸だったそうです。

皆さんも、「切りたくもあり 切りたくもなし」というフレーズ、

どこかで学んだことがありますよね。実は、「前句」だったんです。

後に、五・七・五の附句の部分が独立して、「川柳」になりました。

生みの親は、江戸の前句附選者であった「柄井川柳（からいせんりゅう）」です。

さて、現代の有名な川柳を見てみましょう。

今年の「サラリーマン川柳」の第1位に選ばれた作品は、

「ゆとりでしょ そういふあなたは バブルでしょ」

という句でした。川柳は、季語のない「俳句」ぐらいにしか考えていなかったのですが、

機知に富んだ「ユーモア」をどう表現するかが勝負のようです。

川柳の3要素に「うがち」「かるみ」「おかしみ」と書かれていましたが、この表現がなかなか難しいようです。

「かわさき川柳」の締め切りは、10月31日（月）です。江戸時代から受け継いだ文化を川崎で継承していくのも生涯学習財団の務めです。私も一句。（一人3句まで応募できます）

「大山道 かわさきを知る 人の道」

「火を起こせ どろんこあそびだ 夢パーク」

「生涯の 学びのメッカ アカデミー」

う～ん。まじめすぎる、財団の宣伝になりました。

皆さんも、かわさきで暮らす幸せを川柳で表現してみませんか？

ぜひ、ご参加ください。

(M. Y)

※「かわさき川柳」サイトへ